



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 惠本 司
 (氏名) 白畑 康
 TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	41,854	6.1	1,234	101.4	1,794	70.3	520	△22.2
2021年3月期第3四半期	39,446	△5.8	613	△36.3	1,053	△27.4	668	△31.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 150百万円 (△75.8%) 2021年3月期第3四半期 622百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	37.14	—
2021年3月期第3四半期	47.09	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	111,225	67,917	61.1	4,845.46
2021年3月期	97,392	68,462	70.3	4,886.11

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 67,917百万円 2021年3月期 68,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,800	7.3	2,100	11.1	2,600	10.7	2,100	27.9	149.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(2022年2月9日)公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	15,325,642 株	2021年3月期	15,325,642 株
2022年3月期3Q	1,308,862 株	2021年3月期	1,314,072 株
2022年3月期3Q	14,014,207 株	2021年3月期3Q	14,200,003 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が急速に進んだことにより経済活動が回復する兆しが見られましたが、新たな変異株の感染拡大により下振れリスクへの懸念が高まり、依然として先行き不透明な厳しい経済状態にあります。

砂糖業界におきましては、砂糖消費量が依然として減少傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全般的に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比6.1%増の41,854百万円となり、経常利益は、主に砂糖事業の損益改善及び飼料事業の増益により、前年同期比70.3%増の1,794百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期連結会計期間において持分法適用関連会社の株式売却損を計上したことにより、前年同期比22.2%減の520百万円となりました。

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用しております。「収益認識会計基準」等の適用に関する詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載の通りであります。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、清涼飲料向け等の需要に若干の回復がみられ、前年同期比5.6%増の27,987百万円となりました。損益につきましては、コスト削減等に努め、382百万円のセグメント損失(前年同期は873百万円のセグメント損失)となりました。

<食品事業>

食品セグメントの売上高は、オリゴ糖等食品素材の売上増加等により、前年同期比6.7%増の1,775百万円となりましたが、セグメント利益は、製造原価の上昇等により、前年同期比32.0%減の16百万円となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、主に配合飼料の売上増加により、前年同期比12.4%増の7,954百万円となり、セグメント利益は、ビートパルプの増益により、前年同期比30.7%増の768百万円となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、主に紙筒(移植栽培用育苗鉢)の売上減少等により、前年同期比7.6%減の2,058百万円となり、セグメント利益は、コスト削減に努めたものの売上減少の影響を受け、前年同期比88.9%減の16百万円となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、前年同期並の1,153百万円となり、セグメント利益は、前年同期並の714百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業の売上高は、スポーツレジャー施設等の売上回復により、前年同期比9.4%増の923百万円となり、営業利益は、前年同期比17.1%増の147百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13,832百万円増の111,225百万円で、このうち流動資産は、主に原材料及び貯蔵品の増加により前連結会計年度末比15,814百万円増の63,529百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の下落により前連結会計年度末比1,981百万円減の47,695百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 14,376 百万円増の 43,307 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金が増加により前連結会計年度末比 14,693 百万円増の 32,964 百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比 317 百万円減の 10,343 百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比 544 百万円減の 67,917 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年11月9日に公表いたしました2022年3月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年2月9日)公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,881	5,397
受取手形及び売掛金	7,611	5,445
有価証券	3,500	6,000
商品及び製品	26,643	24,463
仕掛品	1,696	4,413
原材料及び貯蔵品	2,583	10,127
その他	1,800	7,686
貸倒引当金	△0	△4
流動資産合計	47,714	63,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,667	11,619
その他（純額）	12,625	12,806
有形固定資産合計	24,293	24,426
無形固定資産		
	344	445
投資その他の資産		
投資有価証券	23,231	21,281
退職給付に係る資産	1,363	1,379
その他	471	164
貸倒引当金	△26	△1
投資その他の資産合計	25,040	22,823
固定資産合計	49,677	47,695
資産合計	97,392	111,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,114	5,438
短期借入金	11,662	16,164
未払法人税等	335	179
その他	5,157	11,181
流動負債合計	18,270	32,964
固定負債		
長期借入金	233	257
役員退職慰労引当金	22	22
退職給付に係る負債	4,614	4,498
その他	5,790	5,564
固定負債合計	10,660	10,343
負債合計	28,930	43,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,418	8,416
利益剰余金	43,663	43,480
自己株式	△2,630	△2,619
株主資本合計	57,730	57,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,389	10,013
繰延ヘッジ損益	3	1
退職給付に係る調整累計額	338	347
その他の包括利益累計額合計	10,731	10,361
純資産合計	68,462	67,917
負債純資産合計	97,392	111,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	39,446	41,854
売上原価	28,323	31,147
売上総利益	11,122	10,706
販売費及び一般管理費		
販売費	8,321	7,233
一般管理費	2,188	2,238
販売費及び一般管理費合計	10,509	9,472
営業利益	613	1,234
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	563	604
持分法による投資利益	8	32
その他	37	55
営業外収益合計	611	694
営業外費用		
支払利息	71	75
固定資産処分損	73	41
その他	25	17
営業外費用合計	171	134
経常利益	1,053	1,794
特別利益		
固定資産売却益	-	3
役員退職慰労引当金戻入額	-	1
その他	-	0
特別利益合計	-	4
特別損失		
固定資産処分損	27	55
関係会社株式売却損	-	675
減損損失	14	-
その他	-	20
特別損失合計	41	751
税金等調整前四半期純利益	1,011	1,047
法人税等	343	526
四半期純利益	668	520
親会社株主に帰属する四半期純利益	668	520

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	668	520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	△375
繰延ヘッジ損益	△0	△2
退職給付に係る調整額	31	8
その他の包括利益合計	△46	△370
四半期包括利益	622	150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622	150
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当社及び連結子会社は、商品又は製品の販売において、従来は出荷時に収益を認識しておりましたが、顧客に納品した時点で収益を認識する方法に変更しております。また販売奨励金・リベート等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,219百万円減少し、売上原価は751百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,433百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,499	1,663	7,074	2,228	1,134	38,601	844	39,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142	21	11	0	84	260	6,420	6,680
計	26,642	1,684	7,085	2,228	1,219	38,862	7,264	46,127
セグメント利益 又は損失(△)	△873	23	588	151	632	522	125	648

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	522
「その他」の区分の利益又は損失(△)	125
セグメント間取引消去	△35
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	613

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,987	1,775	7,954	2,058	1,153	40,930	923	41,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	162	21	11	14	93	303	7,163	7,467
計	28,149	1,797	7,966	2,072	1,247	41,233	8,087	49,321
セグメント利益 又は損失(△)	△382	16	768	16	714	1,133	147	1,280

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,133
「その他」の区分の利益又は損失（△）	147
セグメント間取引消去	△46
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,234

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「砂糖」の売上高は1,688百万円減少、セグメント利益は19百万円減少し、「食品」のセグメント利益は2百万円減少し、「飼料」の売上高は468百万円減少、セグメント利益は8百万円減少し、「農業資材」の売上高は10百万円減少、セグメント利益は2百万円減少し、「不動産」のセグメント利益は1百万円減少し、「その他」の売上高は51百万円減少しております。